

Meiji
GAKUIN
UNIVERSITY



明治学院大学

マスコミ関係各位

2015年2月16日

明治学院大学国際平和研究所 (PRIME) 共催

国際シンポジウム『ビキニ事件』61年～今みつめる 核被害の拡がり

明治学院大学国際平和研究所は、「ビキニ事件」から61年を迎えるにあたり、核被害の拡がりについて、核実験場とされたマーシャル諸島から、これまで核被害が顧みられてこなかった地域の方々をゲストに迎え、シンポジウムを開催します。

人道面に光をあてて「核なき世界」を希求する国際的な動き、あるいは東電福島第一原発事故などを視野に置きながら、被爆70年の夏を前に、国境を超える視点を持ち、不可視化された核被害にどう迫っていくのか、共に考え模索し、新たな機運とつながりを築く機会にしたいと考えています。

ぜひ事前告知ならびに取材をご検討ください。どうぞよろしくお願いいたします。

- 日 時: 2月21日(土) 10:20~17:30 (開場 10:00) ※無料・事前申し込み不要
- 会 場: 明治学院大学白金キャンパス 本館 10階大会議場 (港区白金台 1-2-37)
- プログラム: 総合司会 **嶋原敦子氏** (環境・平和研究会共同代表)
- 10:20 はじめに **高原孝生氏** (明治学院大学国際平和研究所長、国際政治学・平和研究)
- 10:30 第一部: グローバルヒバクシャの光景
豊崎博光氏 (フォトジャーナリスト、中央大学等兼任講師)
森瀧春子氏 (2015年「世界核被害者フォーラム実行委員会」事務局長、核兵器廃絶をめざすヒロシマの会)
- 13:30 第二部: マーシャル諸島 米核実験被害<非認定> 地域——「視野の外」に置かれてきた人びと
Tempo Alfred氏 (ブラボー実験のときマーシャル諸島で被曝、アイルック小学校元校長、同自治体議員)
Rosania A. Bennett氏 (Tempoの姪、南太平洋大学法学部卒、元国会職員、日本人の祖父をもつ)
竹峰誠一郎氏 (明星大学、グローバルヒバクシャ研究会共同代表)
- 15:45 第三部: 日本漁船員 1000隻をこえる被災船を追う
星正治氏
(広島大学名誉教授、放射線物理学、NHK「水爆実験 60年目の真実」(2014/8/6)で放映された共同研究よびかけ人)
高橋博子氏 (広島市立大学、グローバルヒバクシャ研究会共同代表)
- 17:15 おわりに **藍原寛子氏** (ジャーナリスト、Japan Perspective News 株式会社、福島市在住)
- 共 催: 明治学院大学国際平和研究所 (PRIME)、グローバルヒバクシャ研究会、第五福竜丸平和協会、トヨタ財団助成プロジェクト「福島発 世界へ——世代を超え未来につなぐ被ばく体験のアーカイブ化とネットワーク構築」
- 後 援: 基盤研究(A)(海外学術調査)
カザフ核実験場周辺住民の放射性降下物被曝の実態解明—線量評価及び健康影響解析—
- 問い合わせ先: 明治学院大学国際平和研究所 (PRIME) TEL: 03-5421-5652 E-mail: prime@prime.meijigakuin.ac.jp

取材のお問い合わせは…

明治学院大学 総合企画室(広報) 担当: 渡辺、宮城

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37 Tel: 03-5421-5165 (直通) Fax: 03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp

http://www.meijigakuin.ac.jp